SDGs オンライン出前授業@Teams　から

身近なテーマを題材に、オンライン出前授業@東京・都立墨東特別支援学校





（撮影：佐々木千咲教諭）

「身近なことを世界とつなげる」をテーマに東京都立墨東特別支援学校（堀江浩子校長）では２月16 日、食品ロスと国連世界食糧計画の記事を使い SDGs について考えました。

Teams を使ったオンライン授業の実施にあたり、担当の新田真教諭、佐々木千咲教諭とリハーサルを数回おこないました。オンライン環境では①学校のＩＤに外部から入れるか②外部講師をホストにできるか③校内の回線はじゅうぶんか。教材や進め方では①テーマが身近な記事の選定②SDGs ふせんや文字の大きさはどうか③PC とタブレット、TV モニターをどう使えば生徒の様子が画面越しに伝わり、発表もしやすいか、などを検証しました。

2012 年から毎年おこなっている出前授業ですが、オンラインは初めて。生徒がどこまで理解しているか、進め方は早くないか、「SDGs ふせん」にどんなコメントを書いているか、など朝日新聞社のスタッフからは見えない様子やサポートできない場面に、先生方のフォローが欠かせません。事前の打ち合わせやリハーサルの大切さを改めて感じさせられました。

後日届いたメールには「僕は今回の授業で食品ロスを減らすことや物を再利用することが必要だと思いました。よく新聞を読むのですが、これからも読んで学ぼうと思いました」「私は、世界にはまだ飢餓に苦しんでいる人達がいることに改めてきづきました。そういう人たちのためにも自分にできることをしたいと思いました」と、生徒みずからＰＣで入力した「自分ごと」としてとらえた思いがつづられていました。

新田教諭は「テーマに対して自分の考えをまとめ、しっかりと発言することができていました。1 年間の成長に感心しました」「少し難しいテーマにはじめはソワソワとしていましたが、内容を少しずつ理解できると最後は自分の考えをまとめて伝えることができていました」と、生徒の様子を報告してくれました。

（遊佐美恵子）